

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校番号 5813

(通信制課程)

I 自己評価

1 学校教育目標	1 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 2 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、社会人としての一般教養を身につけさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。	
2 評価する領域・分野	◇進路指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	進路情報提供・進路指導については、生徒・保護者共に80%以上の高い肯定的評価を受けている。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇望ましい勤労観・職業観を形成させて、社会的自立を促進する。 ◇主体的な進路設計ができるように指導し、卒業後の進路実現を目指す。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・分掌の主担当者を中心として、全職員が共通理解の上取り組む。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標 (1) 生徒及び保護者を対象とするアンケート 就業調査 (2) 進路希望調査 (3) 進路先決定状況	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・就業調査及び進路希望調査を実施して実態把握に努めた。 ・進路説明会、個別の学力補充、小論文指導、面接指導を実施した。 ・外部講師による生徒対象の進路ガイダンスを実施した。	①生徒の実態把握と情報提供は、十分にできたか。 ②個々の進路希望に応じた適切な支援ができたか。 ③進路関係についての認識が深まったか。	A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D
11 成果・課題	○卒業予定者を対象に、全職員で連携して情報提供、具体的な学習指導、面接練習、志望理由書、履歴書等の添削指導と個別面談を繰り返し実施した。就職希望者についてハローワークとも連携して指導・支援した。 ○指導が必要な時期がバラバラであるため、全職員による指導体制を構築、運用した。 ○外部講師による講話を実施し、生徒、職員ともに有益な情報を得ることができたと好評であった。 ▲自己肯定感が低く、卒業後の進路に関して「新たな一歩」を踏み出すことが難しい生徒が多い。具体的な進路目標の設定、能動的な進路決定、そして進路実現ができるように、適切な指導や方法の工夫が課題である。	総合評価 A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D
12 来年度に向けての改善方策案	・自己肯定感の低い生徒や、多様な生育状況・家庭環境を持った生徒の進路実現に向けて、最善の支援が行えるように、全職員の共通理解によって個々の生徒の状況や日頃の様子に注意を払う。また、関係機関とも連携して、最新の情報提供に努める。	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年1月

【意見・要望・評価等】

社会経験が少ない子どもが多いことを踏まえて、講演会などを適切に実施してもらっている。必要な情報が必要なときに教えてもらえる。